

科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【思考・判断・技能】

自分のイメージをもとに、ふさわしい方法で工夫し表現する力を身に付けさせる。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 思考力・判断力・表現力 既成のイメージにとられやすい。 表現に必要な技能が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートによる発想のトレーニング 用具の扱い、表現方法の支援（板書や演示） 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごと 単元ごと 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 思考力・判断力・表現力 イメージを表すための表現技能（スケッチなど）が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> スケッチ 板書や演示の工夫 ペアやグループによる学び合い 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごと 単元ごと 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 思考力・判断力・表現力 自分のイメージを表現する思考が既習内容のみに偏ってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現技能の習得（板書や演示） ペアやグループによる学び合い 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごと 	

■主体的・対話的で深い学びに関連して

- 1年 イメージについての話し合い（個人、ペア）
- 2年 イメージに相應しい技能の開発、話し合い（グループ活動）
- 3年 イメージと技法の関係についての話し合い（グループ活動）

■1人1台端末の活用に関連して

- 全学年 主に鑑賞場面で活用。それぞれの考えの共有や鑑賞する作品を1人1台端末上への提示に活用。